

令和3年度「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」実施事業の
効果検証及び事後評価について

みやぎき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員へ意見の聴取をし、評価を行った。

1 宮崎県実施：宮崎県就職氷河期世代活躍応援事業の成果についての意見

(1) 地域プラットフォームの運営

- ・ 令和3年度中の市町村プラットフォームの設置が望まれるなか、市町村への説明・調整等を重ね、年度内の地域プラットフォーム設置、初回会議の開催が実現されたことは評価できる。各地域1時間では十分な情報交換やケース検討が難しいと思われるため、今後、年2回の会議を確実に開催され、意見交換・情報交換が充実されることを期待したい。
- ・ 相談者が抱えている問題はさまざま、関係機関において重層的な支援が必要であると感じた。それぞれの領域があるためどのような連携ができるのか情報を共有することで、相談者のより良い支援に繋ぐことができればよい。

(2) SNSを活用したワンストップ相談体制の整備

- ・ 令和3年度の新規登録者は67名とあまり伸びていないため、周知不足なのではないか。また窓口紹介アカウントの投稿は開設以降6回で「ひきこもり8050問題理解促進セミナー」の案内はなかった。より積極的な広報と登録者に必要な情報を定期的に投稿する等価値を高める必要がある。相談件数は、本人からの相談のみのカウントであり、家族を含めるとどうか。LINEの利用率は60代で76.4%、70代でも69.0%との調査結果もあり、活用機会が広がることを期待したい。登録者数の目標値などを設け、広報を強化してはどうか。
- ・ 多面的に活動を広げ、多くの人に情報発信するためにも、こういった協議会を通じたさまざまな団体との連携は大事だと思う。
- ・ 相談の内容により他の関係機関への誘導などは、発生したか。ある場合には、これも成果としてみてみてもいいのではないか。

(3) 就職氷河期世代の活躍応援に向けた機運の醸成

- ・ 令和2年度は代替手段の動画配信となったことから、無事開催されたことは評価できる。またMRTニュースやYahooニュースに取り上げら

れたことはよかった。動画の出演者と3名登壇者が重複しており、内容も重複する部分があったので、別々のものを提供し、有機的につなげる工夫が求められる。1100名の定員に対し、91名の参加であり、事前の周知に課題がある。境教授の講演やひきこもり経験者の発表など参加者にとって訴求性の高いコンテンツが用意されていたものの、その後の講演やパネルディスカッションがそのコンテンツの価値やメッセージを反映できていない印象を受けた。登壇者やスタッフ間での目的やメッセージ、方向性の共有を図り、真に参加者の理解が促進されるような工夫・取組が求められる。

- ・ 家族や支援者の参加が多く、また、80代の参加者もいることから、8050問題は喫緊の課題であることがうかがえる。
- ・ ひきこもりの経験者などの若者たちにパネラーとして参加してもらい、話をしてもらうのはいかがか。全国にもひきこもりの経験を持つ方で、良い話をする方がいる。
- ・ ハローワークの「若者支援コーナー」の方に来ていただければどうか。
- ・ 外に出られない、または遠方の方々のためのオンラインは絶対必要。
- ・ 発達障害の方々のための就職支援などを行っている会社があれば、紹介をしてもらいたい。
- ・ 2月開催のセミナーについて時間配分に問題があったと感じる。

(4) マッチング機会の提供

- ・ 企業の関心が高まり、受入企業数が増加したことは評価できる。ただ、3回実施されたマッチング会において、参加企業数が参加者を超えており、就職氷河期世代のニーズ・関心に資するものであったか、広報の方法や媒体、時期が適切であったか検証と取組の改善が求められる。
- ・ 面談会での集客の数と実際に就職した人の数の比較をした際、面談会というものの自体が本当に効果的なマッチング手段なのか検討が必要。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が県内で増加した状況の中、県内企業との面談会を3回実施できたこと、就職氷河期世代の就職に結びつけたことは、すばらしい成果である。
- ・ マッチング会から就職決定までの参考事例があれば共有いただきたい。
- ・ 県内中小企業にとって、人材確保は大きな課題であり、新規採用等県内での雇用が十分に進まない中、現在、コロナ禍で外国人の雇用も困難な状況にある。今後、ひきこもり者を含め就職氷河期世代の求職者の掘り起こしをさらに進めていただき、引き続き県内中小企業とのマッチングの機会を提供していただきたい。

- ・ 企業も経済状況上、経営を優先さえざるを得ないため、企業向けセミナーにおいては、企業に対して受入れのメリットを訴える必要がある。

(5) 事業全般・その他

- ・ KPI の達成状況から概ね目標を達成しているものと見られる。
- ・ 「宮崎県就職氷河期世代活躍応援事業」は、世間一般に知られていない。まだまだ周知が必要だと思う。
- ・ 以前、市役所で広報紙の発送作業の際に当事者の方々（ひきこもりの居場所づくり）が作業の手伝いに来てくださったことがある。
多くの人たちとの流れ作業、途中休憩時のちょっとしたあいさつや交わす言葉、やり終わった時の達成感などから、翌月も来たいという連絡をいただき、何カ月か作業をしていただいたことがある。
何らかの形で社会とつながる事の大事さを感じた事があるが、そうした場がさまざまところで作れるとよいと思う。

2 延岡市実施：のべおか就職氷河期世代支援事業の成果についての意見

- ・ 10社の目標に対し、2年連続で16社の企業情報を掲載されていることは評価できる（3社は重複）。今回は電子書籍ということであり、入念な取材により制作されたものが対象者に確実に届くための工夫が求められる。3年連続で同様の冊子・書籍が必要かどうかということを含め、就職氷河期世代の持つ課題に沿った、当事者目線の事業展開に期待したい。
- ・ 多くの対象者の方にこの情報が届き、継続して発刊していくことでより効果を発揮できるいい施策であると感じた。
- ・ パンフレットのレイアウトなど、見やすいと思った。
- ・ 冊子の編集などを当事者たちから募集して使っていただけると嬉しい。
- ・ 就職氷河期世代を受け入れる企業の確保については、KPIの達成状況から目標値を超える成果が出ており、かつ2年連続で達成していることからすばらしい成果となっている。
- ・ 更なる事業の積極的な推進を期待している。
- ・ 電子書籍であること、二次元コードがあることで気軽に閲覧出来る印象を受けた。
- ・ サポステの記事を掲載いただいたことで、関係機関や支援者からの感想の声が届いている。一方で、新規登録者増にはまだつながっておらず、周知から問い合わせに至るまで時間がかかる傾向が考えられる。サポステホームページでもご紹介可能であれば、電子書籍について掲載させていただきたい。

- 電子書籍での情報提供は、若い世代へのアプローチとしては非常に有効だと思う。

3 各事業への評価総括

(1) 宮崎県実施事業

おおむね KPI は達成しており評価できる。ただし、おおよその取組において周知に課題があり、改善が必要。

特にマッチング機会の提供については、参加者数が少なかったことから、就職氷河期世代のニーズ・関心に資するものであったか検証が必要。

(2) 延岡市実施事業

KPI は達成しており評価できる。対象者に当該書籍の情報が確実に届くための工夫は必要。